

## 全国の精鋭田沢湖に集い 2006全日本マスターズスキーたざわ湖大会

3月2日から4日まで、アルペン競技がたざわ湖スキー場、クロスカントリースキー競技が田沢湖スポーツセンター陸上競技場を会場に、2006全日本マスターズスキーたざわ湖大会が開催され、32都道府県から562人のエントリーがありました。

このマスターズスキー大会は、全日本スキー連盟に登録してスキー競技に携わり、普及に努めてこられた35歳以上のみなさんが、競い合う唯一の全国大会で、田沢湖では2005年大会に続き2回目の開催です。

2日の夕方には、市民会館を会場に開会式が行われ、秋田アルペンスキークラブの伊多波祐男選手が「高齢化社会を生き生きとして、練習の成果を発揮し最後まで滑り走り抜く」と選手宣誓し、翌3・4日にはそれぞれの競技で、熱戦が繰り広げられました。



選手宣誓をする伊多波祐男選手

## 名人、名物の味・技をどうぞ 田沢湖の物産即売会「山の楽市」

地元特産の手作りの味と工芸品を即売する『山の楽市』が、3月18・19日の両日、タカヤナギ田沢湖プラザ特設会場で開催されました。

この山の楽市は観光宣伝を兼ねて、特産品を売り込もうと、神奈川県横浜市で平成7年から旧田沢湖町が開催している物産展で、地元のみなさんにも特産品や工芸品の良さを知ってもらおうと、田沢湖物産協会が主催しました。

期間中は、物産協会に加盟する8団体が出店し、漬物やお菓子、工芸品などがずらりと並びました。開店直後から、お目当ての品を買い求める住民や、おみやげとして買い求める観光客の姿も見られ、品切れになる商品が続出するほどの盛況ぶりでした。



お目当ての品を買い求めるお客さんで賑わっています

## 花葉館入湯者120万人達成 大仙市の鈴木さん

平成8年4月にオープンした第3セクターの角館温泉「花葉館」の入湯者が2月18日、120万人に達しました。

記念の120万人目となった大仙市豊川の鈴木吉和さん（24歳・会社員）は、毎月1回ほど花葉館を訪れ温泉を楽しんでいるということです。

この日はちょうど土曜日とあって、花葉館を訪れたたくさんの人たちに見守られ、石黒市長らとともにくす玉を割った鈴木さんには、花葉館の高橋義男社長から花束と記念品の「花葉館ペア宿泊券」が贈られました。



記念のくす玉を割る鈴木さん（左）